

認知症対応型通所介護けやき庵 運営推進会議



令和2年 10月 21日 (水) 13:30 ~ 14:30



社会福祉法人真誠会

第9回認知症通所介護けやき庵運営推進会議

1. 日 時 令和2年 10月 21日（水）13:30 ～ 14:30

2. 会 場 セントラルレジデンス 1階レストラン

3. 出 席

ご家族代表	妹尾 琉里子 様
ご家族代表	福間 明子 様
福米西校区自治連合会長	近藤 芳男 様
福米地区民生児童委員	遠藤 秀実 様
上谷3区自治会長	門脇 和夫 様
ふれあいの里地域包括支援センター	
米子市長寿社会課	

真誠会

社会福祉法人真誠会常務理事	小田 蓉子
社会福祉法人真誠会統括本部長	前田 浩寿
社会福祉法人看護介護統括部長	俵 智恵美
社会福祉法人真誠会事業統括本部長補佐	上村 真澄
認知症対応型通所介護けやき庵管理者	中田 純平
認知症対応型通所介護けやき庵生活相談員	河合 正子

4. 議 題

- ・利用状況及び稼働報告
- ・介護予防と認知症予防
- ・意見交換
- ・その他 米子中央ホスピタウムの現状

「活動状況の報告」

- 1.事業所の運営方針や特色
- 2.運営状況(日々の活動、利用者の様子、利用者数、平均介護度の推移など)
- 3.自己評価、自己点検結果、それを受けての改善措置
- 4.人員体制、人事異勤に関する事
- 5.苦情、事故、ヒヤリハット事例及びその対応や再発防止策などの取り組み
- 6.事業所において実施した行事、その活動についての状況
- 7.地域の住民やボランティア団体等との連携・協力状況
- 8.地域において開催された行事や活動への参加・協力状況
- 9.非常災害時における消防団や地域住民との連携の為の取り組み状況
- 10.前回会議における要望や助言に対する対応(改善)状況
- 11.前回会議において見出された課題、問題点等に対する対応(改善)について

【その他の会議のテーマ】

- ・地域との交流を深めるための取り組みについて
- ・地域での高齢者を取り巻く環境、課題及びその対応(改善)について

地域の住民の方々の意見を聴き、交流を深め、色々な意見を聞く事により、今まで気付かなかった課題やサービスの質の向上に繋がります。様々な立場の方の視点から意見や助言を得ることで、より一層のサービスの質の向上と事業所運営の透明性を確保します。

【真誠会理念】

私たちは、愛と謙虚さを基に、誠実で心に響く医療福祉を提供し、地域の皆様とともに歩み、安心して暮らせる街づくりに貢献します。

【基本方針】

1. 利用者様・患者様の権利を尊重し、尊厳を守ります。
2. 利用者様・患者様の安心安全と、また心・魂に響く医療・看護・介護を提供します。
3. 個人情報保護に努め、さらに施設サービスに関する情報を公開し、常に進化し続ける施設を目指します。
4. 地域・他の医療機関・福祉施設との連携を密にして、信頼を得られる施設づくりに努めます。
5. 充実した職員教育を行うとともに、また積極的に、自己研鑽に努めます。

医療法人・社会福祉法人真誠会

理事長 小田 貢

【けやき庵の理念】

私たちは、ひとりの人としての尊厳を大切に
し、利用者様の在宅生活の継続の一助となる
よう支援をさせていただきます。

また利用者様と同様に家族様の支援も大切
にします。

【地域密着型の使命】

- 存在が地域の人に認識されている
- 存在が地域の人的心里に受け入れられている
- 地域の人々が普段着で、気軽に立ち寄れる
- 地域の人々がスタッフの顔を知っている
- 地域から頼られ、信頼されている
- 地域の人々がその存在を力強く思っている
- 施設の活動が地域の生活と常にリンク(繋がって)している
- 地域との連絡協議会をもっている

認知症対応型通所介護けやき庵の現状

(令和2年 10月 9日現在)

【利用状況】

- 総登録数 20名
- 曜日別登録数

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
12名	11名	10名	9名	12名	11名	4名

•男女比

男性 7名 女性 13名

•平均年齢 87.3歳

最小年齢 77歳 最高年齢 98歳

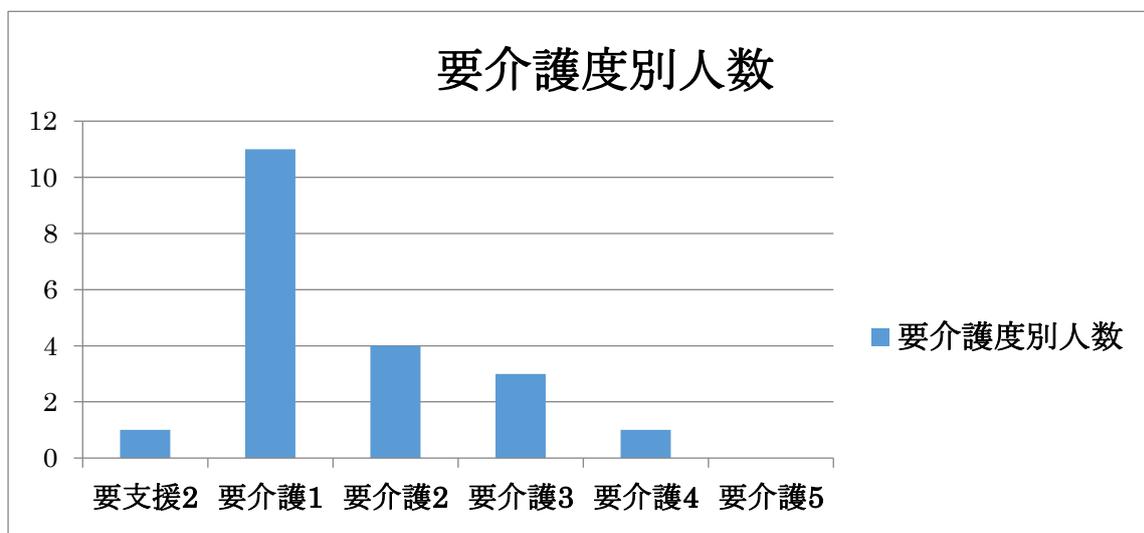
•平均介護度 1.7

•地域別

西福原 4名、東福原 4名、新開 3名、上福原 1名、両三柳 1名、皆生新田 1名
博労町 1名、諏訪 1名、富士見町 1名 米原 1名 淀江 1名 道笑町 1名

•介護度分類

介護度	要支援 1	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数	1名	11名	4名	3名	1名	0名



自己評価(5段階評価)

①存在が地域の人に認識されている	1	2	3	④	5
②存在が地域の人々の心に受け入れられている	1	2	3	④	5
③地域の人々が普段着で、気軽に立寄れる	1	2	③	4	5
④地域の人々がスタッフの顔を知っている	1	2	3	④	5
⑤地域から頼られ、信頼されている	1	2	3	④	5
⑥地域の人々がその存在を力強く思っている	1	2	③	4	5
⑦施設の活動が地域の生活と常にリンク(繋がって)している	1	2	③	4	5
⑧地域との連絡協議会をもっている	1	2	3	④	5

公民館のサロンの参加は今年度5月、11月に講師として職員2名(一般職員)
(令和2年度は福米西いきいきサロンは中止)

地域より定期的なボランティア受け入れ

- ・毎月2回 抹茶ボランティア 稲田陽子様
- ・火・木・土 傾聴ボランティア 福間明子様

人員体制

管理者 1名
生活相談員 1名
介護職員 3名
理学療法士 1名
栄養士 1名(非常勤)

けやき庵職員紹介



管理者 中田 純平
(介護福祉士)
(介護支援専門員)



生活相談員 河合 正子
(社会福祉士)
(精神保健福祉士)



機能訓練指導員
和田 真琴 (理学療法士)



介護職員
嘉藤 良江 (介護福祉士)



介護職員
柏崎 由美 (介護福祉士)



介護職員
義久 美雪 (初任者研修)

ご意見、要望、事故、ヒヤリハット報告事例（対応、再発防止策）

・ご意見・要望

(R2.4～R2.10)

ご意見・要望	対応・対策(→反応)
連絡ノートに毎回、実施している本人の様子を写真で報告してくれている。家では見せない表情もあるので、良かった。また、連絡ノートに書いてある文章が、わかりにくい時もあるので書かれる人は伝わりやすいように記載して欲しい。	連絡ノートの文章は、一日の利用して下さっている様子を記載していた。利用者様ごとで家族様も知りたいことは様々なので、ポイントを絞って記載するよう徹底した。
コロナウイルスでの家族の対応(外出制限)が法人さんによって違うので、対応の変更時等があればその都度教えて欲しい。	以前は感染が拡大している地域に行ったり、そこから帰省された方と接触があった場合は利用を2週間中止してもらった対応をとっていた。その都度、対応が代われば文章や口頭での説明を行っている。

事故・ヒヤリハット報告	対応・対策
障がい者スポーツ(ボッチャ)をしている時に、ボールを投げようとして立ち上がった際にバランスを崩し、転倒する。	そこからは参加者、1試合(6名)が投球するときは必ず、職員が後ろに立ち、何かあったときに対応できる位置に配置をする。
16時に点眼薬をする利用者がある。(16時に行うのは自宅と同じ時間のため) その利用者に対して、点眼をするのを忘れてしまった。次の日に預りトレイの中に残ったままになっており、職員は次の日に忘れたことに気付く。	昼食後薬等は職員2名でダブルチェックができています。同じように16時にも当日の責任者、その他の職員でダブルチェックを行うよう対応する。

地域交流を深めるための取り組みについて

- サロン活動への参加（5、11月福米西公民館）

- 行事

夏祭り 米子中央夏祭り 皆生ピースポートにて

- オレンジカフェの取り組み

オレンジの日：毎月第3木曜日に開催 時間 9:30～10:30

場所：米子市西福原8丁目 16-66 レジデンス1階にて

オレンジカフェは毎日(月から土 10:00 から 16:00 まで)

- 消防総合訓練 9月実施、3月開催予定

※9月24日に実施 ※災害訓練

- 意見交換

地域の高齢者を取り巻く課題、認知症についてご意見、相談事等ありましたら

教えて下さいませ。

アンケート(5段階評価)

①存在が地域の人に認識されている	1	2	3	4	5
②存在が地域の人的心里に受け入れられている	1	2	3	4	5
③地域の人普段着で、気軽に立寄れる	1	2	3	4	5
④地域の人スタッフが顔を知っている	1	2	3	4	5
⑤地域から頼られ、信頼されている	1	2	3	4	5
⑥地域の人その存在を力強く思っている	1	2	3	4	5
⑦施設の活動が地域の生活と常にリンク(繋がって)している	1	2	3	4	5
⑧地域との連絡協議会をもっている	1	2	3	4	5